

# 振り込め詐欺はあなたをねらっています

まさか自分がだまされるとは思わなかった...

## 巧妙化する手口とその対処法を学ぶ

### 市役所や社会保険事務所を装う「還付金詐欺」

#### 【キーワード】

- ・医療費や税金の還付金があります
- ・ＡＴＭへ行ってください

その後、犯人が電話でＡＴＭの操作を指示し、口座に現金を振り込ませてだまし取ります。

#### 【対処法】

- ・公的機関の名前を言われても信用しない。公的機関が電話で還付金の連絡をし、ＡＴＭで手続きをお願いすることはありません。

### メールや郵便を使った「架空請求詐欺」

#### 【キーワード】

- ・有料サイトの料金が未納です
- ・インサイダー取引になります
- ・プリペイドカードを買ってきてください

このようなメールや郵便がきた後、解決金として現金を振り込ませたり、受け取りに来たりしてだまし取ります。

#### 【対処法】

- ・不審なメールには返信しない。
- ・身に覚えのない話は無視する。
- ・不審な郵便物は無視する。

近年、振り込め詐欺の被害が後を絶ちません。県内における平成28年の被害状況は8月末現在で117件、被害額は約3億2560万円となっています。被害に遭わないために少しでも怪しいと思ったら、まずは家族や警察に相談しましょう。

問い合わせは、安全安心課安全推進係（☎内線465）へ。

### 子供や孫を装う「オレオレ詐欺」

#### 【キーワード】

- ・風邪をひいて声がおかしい
- ・携帯の番号が変わった

その後、現金を要求する電話が入り、口座に現金を振り込ませたり代理人が受け取りに来たりし、現金などをだまし取ります。

#### 【対処法】

- ・必ず元の電話番号に電話して確認する。
- ・自宅の電話を留守番電話に設定する。

### 警察や銀行を装う「オレオレ詐欺」

#### 【キーワード】

- ・あなたの口座が犯罪に使われています
- ・すぐに現金を下ろしてください
- ・キャッシュカードを渡してください

その後、警察官や銀行職員を装った犯人が現金やカードを受け取りに来てだまし取ります。

#### 【対処法】

- ・警察、銀行と言われても簡単に信用しない。警察官や銀行職員が預金通帳やキャッシュカード、現金を預かることはありません。
- ・キャッシュカードや暗証番号を他人に渡さない。

### 振り込め詐欺の御相談は

- ・桐生警察署（☎43 - 0110）
- ・振り込め詐欺被害防止ホットライン（24時間対応☎027 - 224 - 5454）

「震災の募金をお願いしています」など良心を利用し現金などをだまし取る手口や、「修理契約をすれば行政から補助金がです」などと言って高額な修理費用を支払わせる手口もあります。

#### ●災害に便乗した特殊詐欺

「今日中に保証金を振り込めば解決する」などと言われ現金などをだまし取ります。

「有料コンテンツの未払いがあります。利用料金の確認は1番を、誤って登録した場合は2番を押してください。」と音声ガイダンスが流れ、どちらの番号を押しても犯人の電話番号に電話するよう指示され、電話をすると「今日中に保証金を振り込めば解決する」などと言われ現金などをだまし取ります。

#### ●自動音声ガイダンスを悪用

「有料コンテンツの未払いがあります。利用料金の確認は1番を、誤って登録した場合は2番を押してください。」と音声ガイダンスが流れ、どちらの番号を押しても犯人の電話番号に電話するよう指示され、電話をすると「今日中に保証金を振り込めば解決する」などと言われ現金などをだまし取ります。

## 大雪の教訓を生かして雪に備える



まもなく降積雪期を迎えます。各家庭において雪への備えをお願いします。

問い合わせは、安全安心課防災係（☎内線415）又は土木課維持係（☎内線619）へ。

#### テレビやラジオで情報収集を

大雪に対する備えとして、テレビやラジオの天気予報やニュースで、あらかじめ情報を集めましょう。また、雪が降った後も、関連する情報をチェックしておくことが大切です。

#### 大雪が降ったら不要不急の外出はしない

積雪時の外出は、できるだけ避けましょう。転倒や事故など、不測の事態につながる可能性があります。

どうしても外出しなければならぬ場合は、十分に注意が必要です。車を運転するときは、冬用タイヤへの交換と普段以上の安全運転を心掛けましょう。

除雪をするときと、車を運転するときの注意事項は、次のとおりです。

#### ○除雪をするときは

- ・消防車や救急車などが通行できるよう、生活道路の除雪などに協力しましょう。
- ・歩道などの除雪に協力しましょう。

家の間口や車庫前の除雪は各家庭でお願いします。お年寄り世帯などは、地域で協力しましょう。

除雪された雪を道路や歩道に出さないでください。路面凍結や路面が凹凸状になり、交通事故の原因となります。

家の前や車庫出入り口の障害物は、除雪の妨げになりますので片付けてください。

○車の運転をするときは  
乗車前に次の項目をチェックしましょう。

- バッテリー
- 燃料は満タンに、軽油は不凍性のものを
- 乗車前に靴底の雪を払う

・次のものを車に積んでおく  
と、いざというときに便利です。

- チェーン
- 脱出マット
- 軍手・ゴム手袋・長靴
- スコップ
- ウォッシュヤー液（冬用）
- ブースターケーブル
- けん引ロープ

スコップなどの除雪用品は、積雪時には入手困難になることがありますので、事前に用意しましょう。  
運転中は、急ハンドル、急ブレーキは避け、安全速度を守り、車間距離を十分にとりましょう。  
路上駐車はやめましょう。除雪作業の支障や事故の原因

因となるだけでなく、緊急車両が通れなくなります。  
除雪車で除雪作業をするにあたって御協力を



道路の除雪を円滑に行うためには、地域の皆さんの協力が必要です。積雪時には助け合いをお願いします。

#### ●優先除雪区間を定めて除雪

します。優先除雪区間は、高速道路、国道及びこれらに接続する幹線道路で防災面からも重要な道路です。

●効率的な除雪作業を行うために、通行止め規制を実施する場合があります。

●除雪作業の支障となる放置車両は、災害対策基本法により道路管理者が移動することがあります。

●通勤・通学時間に間に合わせるため、深夜・早朝に除雪作業を行うことがあります。

●除雪車から皆さんが見えないことがあり大変危険ですので、近づかないでください。